

「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を開催しました。

2月26日（月）、当親善協会法人・団体会員、個人会員35名が参加して、「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」を広島市中区袋町にあるメキシカン&アメリカン料理のお店“Graffiti”で開催しました。

会場の“Graffiti”も、当日音楽を担当したサルサバンド“エル・コンボ・デ・ラ・パス”も当親善協会ではすっかりお馴染みとなりました。

冒頭、金井会長のご挨拶では、今現在広島県を上げて取り組まれている東京五輪に向けてのメキシコ選手団受け入れに関してお話があり、当親善協会としても会員企業や団体、そして個人の参加協力など、これらの機運を高めていくことについて、当日の参加者へ呼びかけられました。



「メキシコ料理と音楽を楽しむ会」開催にあたり挨拶をする金井会長



参加者全員でシェリトリンドを合唱



マラカスを手に盛り上がる留学生のアントニオさんとボーカルの河上さん

今回“エル・コンボ・デ・ラ・パス”からは、リーダーでピアニストのアルバルさんとボーカーの河上さんのお二人が、オリジナル曲からメキシコの曲までいつものように盛り上げてくれました。

そして、会員に定着してきました当親善協会歌であります「シェリトリンド」とグアナファト州を代表する曲「カミノ・デ・グアナファト」を全員で合唱しました。

また、当日はグアナファト州出身で現在広島大学院に留学中のアントニオさんを招待し、会員との交流を深めてもらいました。

来期以降もこのような会員交流会を企画しますので、これまで参加されていない方、特に個人会員の方、ご参加お待ちしております。



最後に参加者全員で記念撮影